

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業
男性同性間の HIV 感染対策とその評価に関する研究

大阪地域の予防介入プログラムの評価と
HIV 感染予防行動の関連要因に関する研究

主任研究者：市川誠一（名古屋市立大学大学院看護学研究科）

研究協力者：金子典代（名古屋市立大学大学院看護学研究科）、大森佐知子（名古屋市立大学大学院看護学研究科）、木村博和（横浜市南福祉保健センター）、辻宏幸（財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント／MASH 大阪）、鬼塚哲郎（京都産業大学／MASH 大阪）

研究要旨

本研究の目的は、大阪地域の MSM を対象者とした質問紙調査のデータをもとに 1. MASH 大阪の予防介入資材・プログラムの浸透度、HIV 感染予防行動への価値観や規範などの HIV 感染予防に関連する要因を年齢層別に分析すること、2. 対象者のコンドーム使用行動を行動変化ステージ別に分類しステージと予防啓発資材の接触率や HIV 予防の価値観、予防行動の規範との関連を分析し予防介入プログラムの介入評価資料を得ることである。

質問紙調査は MASH 大阪が予防啓発資材のアウトリーチ活動を行っている商業施設より協力を得て実施し、総計 601 の有効回答を得た(回収率 56.6%)。このうち 20 歳以上のゲイ、バイセクシュアルまたは男性と性行為の経験のある男性 546 名のみを分析の対象者として分析を行った。

MASH 大阪が配布を行ってきた予防啓発資材（コミュニティーペーパーやアウトリーチコンドーム等）の認知、受け取り率は 60—70% と高いことが明らかとなった。また、MASH 大阪の予防プログラムへの接触の程度や認知率、HIV 抗体検査受検行動、性感染症の既往、HIV 感染のリスク認識、性行動、コンドーム使用行動、ドラッグ使用、コンドーム使用への意図は年齢層との関連がみられた。

コンドーム使用の行動変化ステージの分布は性行為の相手別に異なり、その場限りの相手とのコンドーム使用においては、特定相手とのコンドーム使用よりも行動期、行動維持期にあるもののがより多いことが明らかとなった。行動変化ステージと予防啓発プログラムの接触・認知率にも関連が見られ、無関心期、関心期にあるものは行動、行動維持期にあるものに比べて MASH 大阪の予防啓発プログラムの認知率が低い傾向が一部に見られた。HIV 予防の価値観、予防行動の規範にも行動変化ステージと関連が見られ、行動変化ステージが維持期に近づくほど、自分の周囲にコンドーム使用者が増加している、コンドームを使用すると病気の心配なく性行為を行えると認識しているものの割合が高くなっていることが明らかとなった。

この研究成果を踏まえ、予防活動の達成度を評価する一方で、介入が行き届いていない層を明確化するとともにその層に対していかに効果的に働きかけるかを考案していく必要がある。またコンドーム使用行動の変化ステージに関連する因子をより明確にし、より対象者を維持期に向かうことを支援するにはどのような因子に働きかけることが効果的なのかを考慮に入れた予防活動を実施することが望まれる。

A. 背景と研究目的

MASH 大阪では大阪地域の MSM(men who have sex with men)、堂山・新世界地域のゲイバーの利用者にターゲットをあて、コンドーム配布活動やエイズや性感染症に関する情報を盛り込んだコミュニティーペーパーSaL+(MASH 大阪の啓発プログラムであるアウトリーク資材のひとつで、コミュニティー情報に HIV/STI の予防情報をくるんだコミュニティー情報誌のこと、通称サルポジ、以下コミュニティーペーパーSaL+とする)の配布活動を行ってきていた。また、これらの予防介入プログラムが HIV 抗体検査受検行動や HIV 感染予防行動にどのように影響しているか継続的な評価を行うため、ゲイ向けクラブイベントにおいて質問紙調査を 1999 年より継続的に実施してきた。しかし、これらのクラブイベントで実施する調査における質問項目数には限界があることや、クラブイベントの調査では回答者はクラブイベントの参加者となり、MASH 大阪が行ってきた介入プログラムの直接のターゲット層であるゲイバーの顧客と完全には一致していないという限界があった。そこで 2005 年はこれまで MASH 大阪の予防プログラムの主のクライアントとしてきた堂山・新世界地域のゲイバーの利用者にむけた精密質問紙調査を実施した。質問項目には、過去のクラブイベント調査において用いた項目に加え、MASH 大阪のアウトリークコンドームの受け取り経験と使用頻度、MASH 大阪のコミュニティーペーパー(SaL+)の購読内容と購読頻度、性感染症の既往、過去 6 ヶ月間のコンドーム使用、アルコール・ドラッグの使用、コミュニティーにおける HIV 感染予防行動の規範などについてもたずねた。特に、過去 6 ヶ月間のコンドーム使用行動に関する質問項目では、従来用いていた相手別のコンドーム使用頻度のみでなく、行動の変容段階(変化ステージ)という概念を取り入れた項目を取り入れた。この行動の変化ステージという概念では、

対象者が望まれる行動を行っているかいないのかという行動の有無という側面に着目するのではなく、行動を維持できるまでにいたるプロセスや行動変容への意思も組み入れて行動をみる概念である。この概念を用いることにより、コミュニティーにおける行動変化ステージの様相を明らかにできるとともに、各変化ステージの層にどの程度予防介入が行き届いているのかを明確にでき、コミュニティーへの介入の効果を評価する上での指標となることが考えられる。

本研究の目的は、ゲイバー顧客を対象者とした精密質問紙調査のデータをもとに 1. 予防介入資材の浸透度、抗体検査受検行動などの HIV 感染予防行動に関連する要因を年齢層別に分析すること、2. 対象者のコンドーム使用行動の変化ステージに焦点をあて、行動変化ステージ別の予防啓発コンドームやコミュニティーペーパーの受け取り経験率を分析し、予防介入プログラムの介入評価資料を得ることの 2 点である。

B. 研究方法

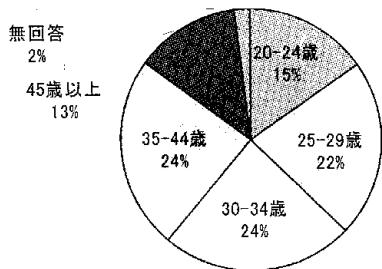
MASH 大阪がコミュニティーペーパーSaL+および啓発用コンドームを毎月配布している商業施設に調査協力を依頼し、調査協力の同意が得られた 41 店舗に 1340 部の質問紙配布を依頼した。質問紙の配布・回収方法については、商業施設のオーナーから顧客への直接手渡しを依頼し、顧客からは直接郵送にて質問紙を回収する方法をとった。また MASH 大阪ドロップインセンターDISTA においても来場者に質問紙を配布し、直接郵送法にて質問紙を回収した。対象者には謝礼として商業施設で使用可能なチケットと抽選でアンダーウェアが当選する仕組みとした。全有効回答数は 601(回収率 56.6%) であった。質問紙構成は(1) 基本属性、(2) MASH 大阪が行っている予防介入プログラムへの接触状況、(3) HIV 感染予防に関する

知識および意識、(4) HIV 抗体検査受検、(5) 性感染症の既往、(6) 性行為経験およびコンドームの使用頻度、(7) 性交時のアルコールおよびドラッグ使用の状況など全 40 間であった。本報告では、20 歳以上の自らの性指向をゲイまたはバイセクシュアル、わからないと自認している、または男性と性行為の経験があると回答した 546 名の回答のみを分析の対象とした。本研究では DISTA 来場者からの回答は除いた。年齢層は 20-29 歳、30-39 歳、40 歳以上の 3 つのカテゴリーに分類し、質問項目を年齢カテゴリー別に集計し各項目と年齢との関連を分析した。また、ナルセックスの相手別(特定、その場限り)、行為別(挿入時、被挿入時)計 4 種類の性行動の際のコンドーム使用の変化ステージの分類を行い、各行動ステージ別の過去 1 年間 HIV 抗体検査受検率、MASH 大阪の予防介入プログラムの接触・認知率、HIV 感染予防の規範や価値観との関連を分析した。データの集計および統計処理には SPSS11.5J(Windows) を用いた。

C. 結果

本研究の対象者の年齢層の分布は図 1 の通りである。平均年齢は $33.9 (\pm 9.9)$ 歳であり、最少年齢は 20 歳から最高年齢は 72 歳であった。本調査では比較的幅広い年齢層となる年齢の偏りの少ない対象者からの回答を得ることが可能であった(図 1)。

図1. 対象者の年齢層分布(N=546)

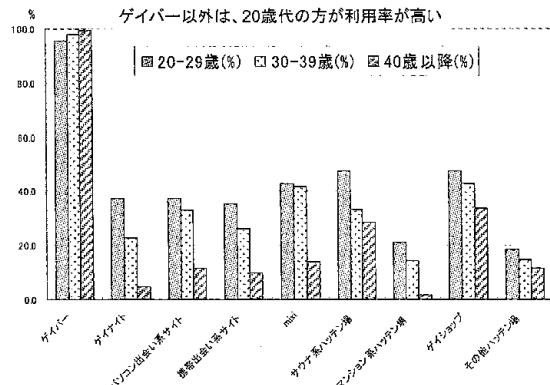


1. 全般的な傾向と年齢層別の比較(付表 1)

1) 基本属性、利用した商業施設

対象者の居住地は大阪が最も多く 70.5% を占め、大阪を除く近畿圏が 22.6% であり全対象者の 9 割以上が近畿圏に居住していた。自認するセクシュアリティーは、ゲイが 88.0% と最も多かった。年齢層との有意な関連はみられないものの、40 歳以上ではバイセクシュアルを自認する割合が他の年齢層に比べて高く 15.7% であった。過去 6 ヶ月の商業施設等の利用に関しては年齢層との関連がみられ、ゲイバー以外の全てのサービスにおいて 20 歳代の層の利用割合が最も高く 30 歳代が次に多い傾向がみられた。特に、インターネットソーシャルネットワーキングサービス mixi やパソコン出会い系サイト、携帯出会い系サイトの利用は 20 歳代の利用割合は 35% を超えており、40 歳以上の層より高かった(図 2、付表 1)。

図2. 過去6ヶ月に利用したサービス(年齢別)



2) MASH 大阪ドロップインセンター dista、予防プログラムへの接触と認知

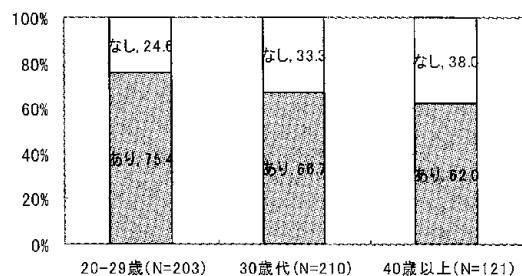
MASH 大阪のドロップインセンター dista の認知は年齢層が低いほど高く、20 歳代では 35.0% の認知率であるのに対し 40 歳以上では 22.1% の認知率にとどまった。また MASH 大阪のホームページの認知率は、30 歳代が 17.3% と最も高いが 40 歳以上では 9.8% にとどめた。MASH 大阪の関連イベントでは、エイズ予

防啓発プログラムの Plus+が参加率、認知率ともに全体で最も高く、20歳代では 16.9%の参加率、29.4%の認知率であった。また Plus+への 30歳代、40歳代の参加率は低いものの認知率はその他の MASH 大阪の予防プログラムと比較しても高かった(付表 1)。

3) コミュニティーペーパーSaL+の受け取りと認知

全対象者における MASH 大阪の HIV 感染予防啓発情報誌 SaL+の入手・購読経験率は 68.9%と高く、特に 20 歳代の入手・購読経験率が 75.4%と他の年齢層より高かった(図 3)。SaL+を持ち帰った経験があるものは全体で 64.8%であったが、40 歳以上の年齢層においては 45.2%と低かった。SaL+を認知しているもののうち過去 1 年間の SaL+の購読頻度は 2-3 ヶ月に 1 回と回答した割合が最も高く、全ての年齢層において毎月、2・3 ヶ月に 1 回読んでいるものの割合が 7 割を超えていた。SaL+の入手経験がある 40 歳代の層においては「毎月読む」と回答した割合が 42.7%と最も高かった。購読記事の内容は、性感染症情報、HIV 検査情報や dista 情報、商業施設情報などの購読率が 20 歳代に高く、映画情報の購読率は 40 歳以上において最も高かった。

図3. 年齢層別に見たSaL+購読・入手割合



4) MASH 大阪アウトリーチコンドーム

MASH 大阪のアウトリーチコンドームの認知

率はどの年齢層においても 7 割を超えており、平均で 72.6%であった。また MASH 大阪のコンドームを持ち帰った経験があるものも、全ての年齢層において 6 割を超えていた(図 4)。持ち帰った場所は、20 歳代では堂山が多く、新世界やミナミ地域での受け取り率は 40 歳以上に高かった。20 歳、30 歳代の方が月 1 回、2-3 ヶ月に 1 回入手したもののが割合が高いが、40 歳以上では「1 回だけ」持ち帰ったと回答した割合が 39.2%と最も高かった。MASH 大阪は 2005 年 3 月末にてコンドームアウトリーチを休止しており、その後の行動変化の参考資料を得るため休止後のコンドーム使用行動の変化をたずねた。その結果、MASH 大阪のコンドームの受け取り経験があるもののうち 16.7%が「コンドームを買って使うようになった」と回答しており有意差はみられないものの「買って使うようになった」と回答した割合は 20-30 歳代に高い傾向が見られた(図 5-6)。

図4.MASHコンドーム持ち帰り経験(年齢別)

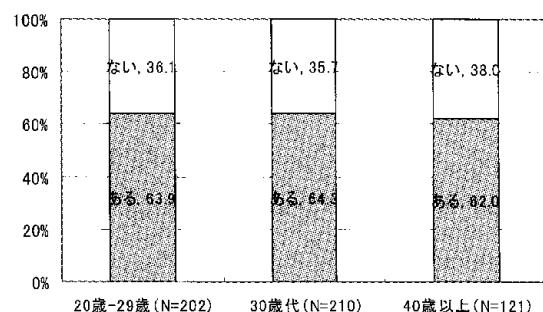


図5.MASH大阪のゴム配付休止後行動変化(N=351)

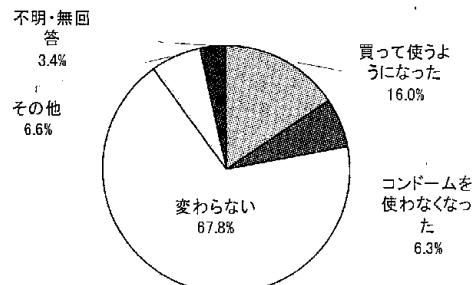
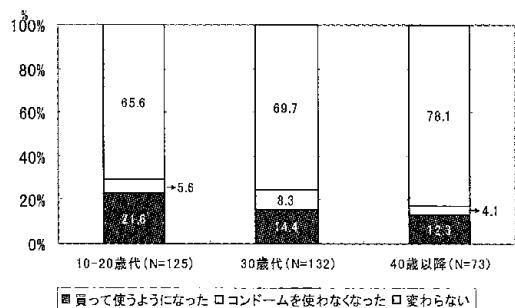


図6. コンドーム配付休止後購買行動変化(N=330)



5) 過去1年間のHIV抗体検査受検

過去1年間のHIV抗体検査の受検率は全体で28.2%であり、受検率は年齢層が低いほど高く20歳代では35.0%であった(図7)。検査を受検した場所は保健所、病院・医院が多かったが、年齢層との関連はみられなかった。過去1年間に受検経験のあるもののうち土曜検査で受検した割合は30歳代に最も多かった。またHIV自宅検査キットやHIV郵送検査の利用者は全対象者のうち1.5%であった(図8)。

図7. 過去1年間のHIV抗体検査受検率

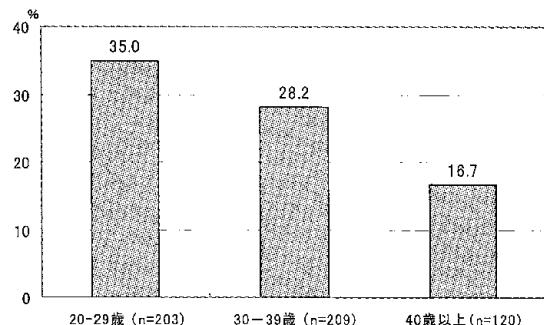
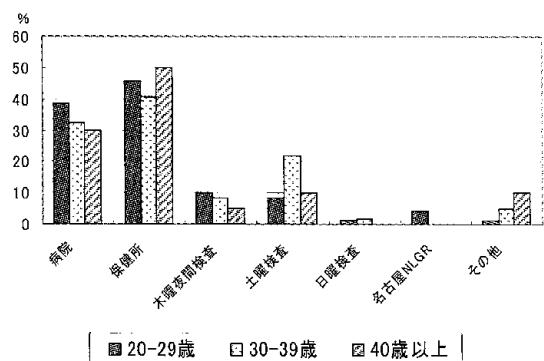


図8. 抗体検査を受検した場所
(過去1年に受検経験のあるもののみ)



6) 性感染症の既往、性感染症罹患時の受診病院の認知

生涯で性感染症に罹患した経験のあるものの割合は全体で29.9%であり、40歳以上において最も高かった(図9)。淋病、クラミジア感染症の生涯の既往歴は40歳以上において最も高く、ケジラミの既往歴は20歳代において最も高かった(図10)。性感染症にかかった際に受診する病院の認知率は全体で53.6%であり、年齢層が高いほど認知率が高い傾向が見られた。

図9. 生涯STD罹患経験

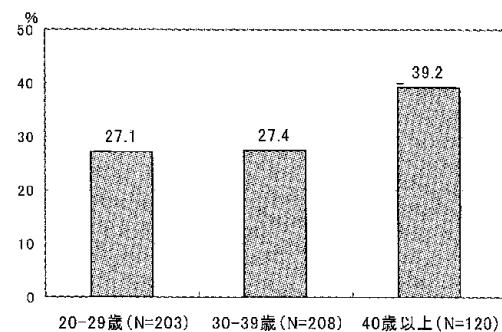
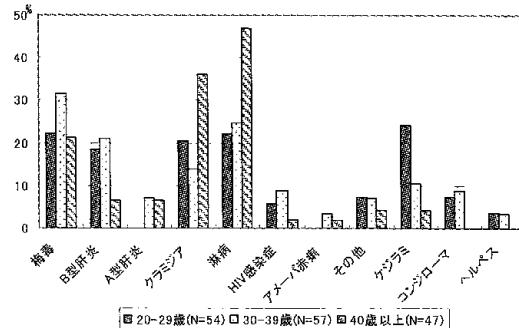


図10. 既往のある性感染症の種類(生涯)

* 生涯で性感染症既往ありのみ対象

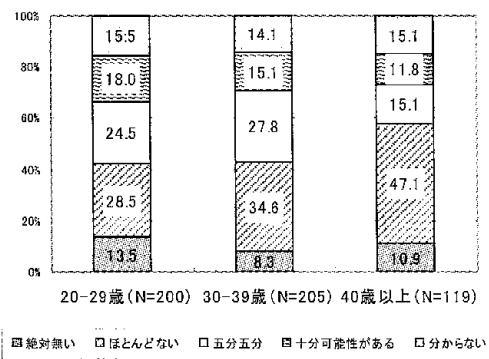


7) HIVに感染する可能性の認知

自身の行動を振り返ってHIV感染のリスクがどのくらいあるかを「絶対ない」から「十分可能性がある」の4段階と「わからない」の5項目を用いてたずねたところ、回答に年齢層との関連が見られた。「十分可能性がある」と回答した割合は若い年齢層に多い一方で、「絶対ない」と回答している割合も20歳代におい

て高かった(図11)。年齢別にみると20歳代では「ほとんどない」が28.5%「五分五分」が24.5%とあわせて過半数を占め、30歳代、40歳代では「ほとんどない」が各々34.6%、47.1%と最も多かった。

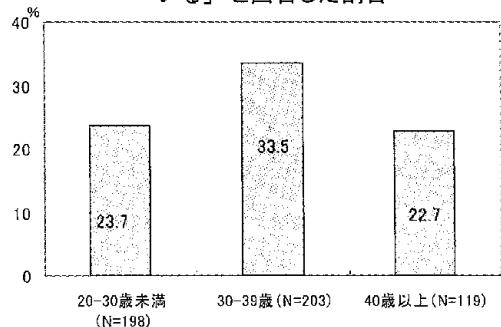
図11. HIV感染リスクの認識



8) HIV感染者の友人の有無、感染者の生活の認知

あなたのまわりにHIVに感染した友達や知り合いがいますか?との問い合わせに対して「いる」と回答した割合は、30歳代が33.5%と最も高かった(図12)。またHIV感染者の仕事や生活の認知率も30歳代において31.4%と最も高かった。

図12. HIVに感染者の友達・知り合いの有無
「いる」と回答した割合



9) エイズ関連知識、情報の入手

エイズ関連知識を6項目を用いてたずねたところ、全体での正答率は「MSMでのHIV感染者報告数は増加している」が88.1%と最も高く、「迅速検査では擬陽性の結果が出る可能性

がある」が47.3%と最も低かった。正答率と年齢層との関連はみられなかった(図13)。過去6ヶ月のエイズに関する情報の入手率はどの年齢層においても5割を超えており平均で54.8%であった。情報の入手元に関しては、「人づて」が68.8%と最も高く、ゲイ雑誌が46.2%と次に多かった。インターネット、携帯サイトから情報を入手した回答したものの割合は20-30歳代に高かった(図14)。

図13. エイズ知識項目正答率

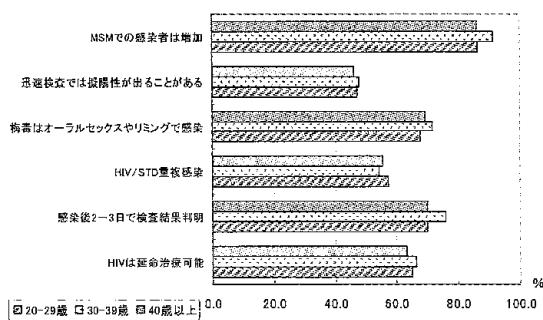
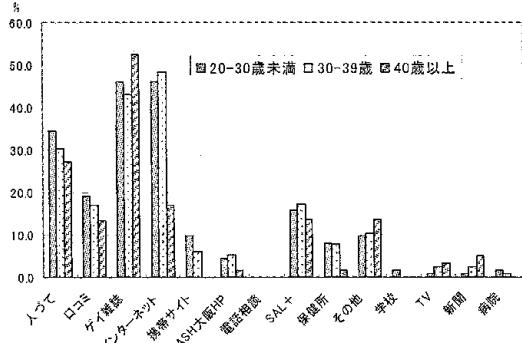


図14. エイズや性感染症の情報入手場所



10) 男性との性行為経験の有無

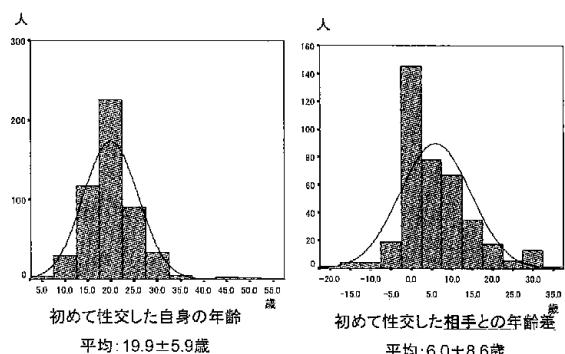
これまでに「男性と性行為の経験がある」と回答した割合は全ての年齢層において90%を超えており、年齢層が高いほど経験割合が高い傾向が見られた。

11) 初めて男性と性交した年齢と相手の年齢

初めて男性と性交した年齢の平均は19.9歳であった。20歳代では「20歳未満」のときと

回答した割合が最も高く、その他の年齢層では「20-29歳のとき」の割合が最も高かった。また初めて性交を行ったときの相手の年齢平均は25.5歳であり対象者の初性交年齢より高く、初性交の歳の相手の年齢が自分より高かったものが66.4%と過半数であることが明らかとなつた。また40歳以上では初性交時の相手の年齢層に均等なばらつきがあるのに対し、20-30歳代においては初性交時の相手の年齢が20-29歳であったと回答した割合が高かつた。

図15. 初めて性交した年齢と相手との年齢差



12) 特定の相手とのオーラルセックスとコンドーム使用

過去6ヶ月における特定の相手とのオーラルセックスはどの年齢層においても7割以上の経験率であったが、オーラルセックスの際のコンドーム使用は「全く使わなかつた」と回答した割合が全体平均で91.2%と高く、40歳以上の層において最も使用しないと回答した割合が高かつた。

13) その場限りの相手とのオーラルセックスとコンドーム使用

過去6ヶ月にその場限りの相手とオーラルセックスを行つたと回答した割合は20歳代が最も高かつた。コンドーム使用は、「使わなかつた」と回答したもののがいずれの年齢層においても最も高く9割を超えていた。

14) 特定相手とのAnalセックスとコンドーム使用

過去6ヶ月間に特定相手とのAnalセックスを行つたものの割合は全体で50.1%であり、年齢層が低いほど経験割合が高い傾向がみられた。過去6ヶ月の特定相手のAnalセックスを行つた人数は、いずれの年齢層においても「1人」と回答したもの割合が最も多かつたが、2-4人と回答した割合は、20歳代において37.5%と最も高かつた。挿入時のコンドーム常用率は30歳代において40.0%と最も高く40歳以上が最も低かつた。被挿入時のコンドームの常用率は20歳代において39.5%と最も高く40歳以上が最も低かつた。

15) その場限りの相手とのAnalセックスとコンドーム使用

過去6ヶ月にその場限りの相手とAnalセックスを行つたと回答したものの割合は、年齢層により有意な差がみられ、年齢層が低いほど経験割合が高かつた。その場限りの相手とのコンドームの常用率は特定の相手との常用率より挿入時、被挿入時ともに高い傾向がみられた。

16) 最後のAnalセックスでのコンドームの使用

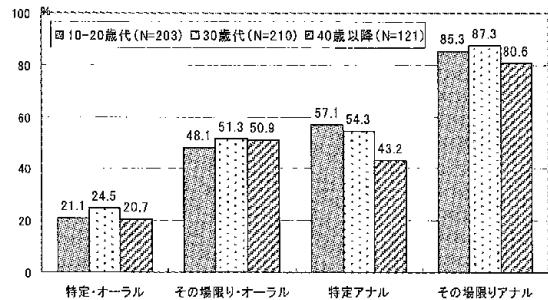
過去6ヶ月にAnalセックスを行つたものにおける最後のAnalセックス時のコンドーム使用率は、全体の平均で58.8%であり年齢層が低いほど高い傾向が見られた。

17) コンドームの使用意図(付表2)

特定、その場限りの相手別のオーラルセックス、Analセックス時のコンドーム常用の意図を「使いたくない」から「毎回使いたい」の5段階にて尋ねた。その結果、全体の傾向として、特定相手とのオーラルセックスにおけるコンドーム常用意図は低く、その場限りの相手とのAnalセックス時の常用意図が最も高い傾向

がみられた。またアナルセックス時のコンドーム常用意図には特定相手、その場限りの相手とともに年齢層との関連が見られ 40 歳代における最も低かった(付表 2、図 16)。

図16. 相手・行為別のコンドーム使用意図
「コンドームを毎回/出来るだけ使いたい」と回答した割合



18) セックス時のアルコール使用

過去 6 ヶ月間でアルコールを飲んでセックスをしたことがあると回答した割合は、過去 6 ヶ月間にセックス(オーラル・アナルいずれか)を行ったもののうち 71.9% であった。

19) セックス時に併用したドラッグ

生涯で使用したことのあるドラッグについてたずねたところ、全対象者の 61.4% にラッシュの使用経験があり、21.1% にゴメオの使用経験があった。また、年齢層により使用経験率に差がみられ、年代が低いほど使用経験割合が高かった。

20) コンドーム使用や HIV 予防の規範・価値観年齢層で差がみられた項目は、「相手からコンドームなしでセックスをすることを求められると断りにくい」と回答したものの割合は年齢層が高いほど高かった(付表 2)。

2. コンドーム使用のステージ

1) 行為・相手別のステージの分布

コンドーム使用の変化ステージを図 17 の分類アルゴリズムを用いて無関心期から維持期の 5 段階に分類した(図 17)。なお、本研究では行動期・維持期はまとめ、計 4 つのステージを用いて分析を行った。行為・相手別の 4 種類のアナルセックス時のコンドーム使用のステージの分布を図 18 に示す。特定、その場限りのアナルセックスの相手別にコンドーム使用ステージの分布の様相は異なり、特定相手とのアナルセックスにおけるコンドーム使用ステージは無関心期にあるものが多いこと、その場限りの相手とのアナルセックスにおいては行動・維持期にあるものが多いことが明らかとなつた。

図17. コンドーム使用の準備性(ステージ)の分類

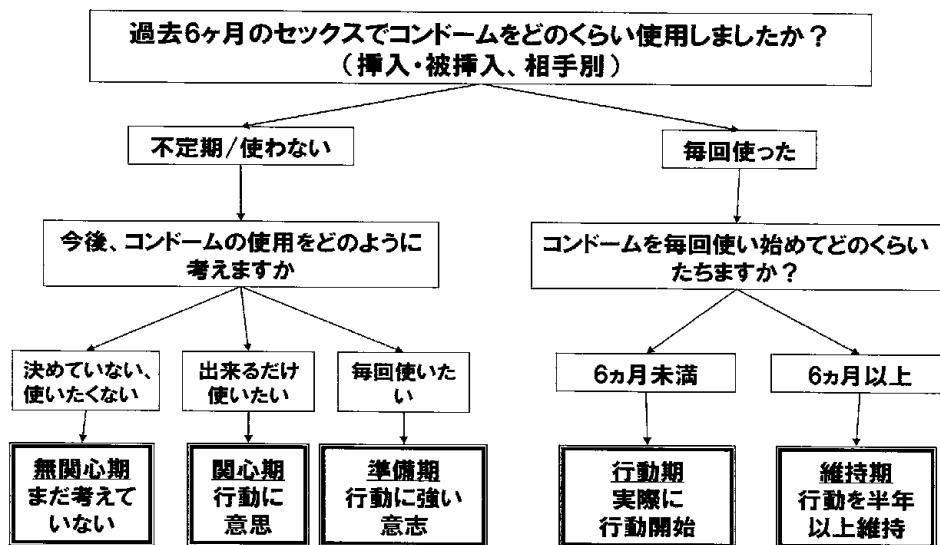
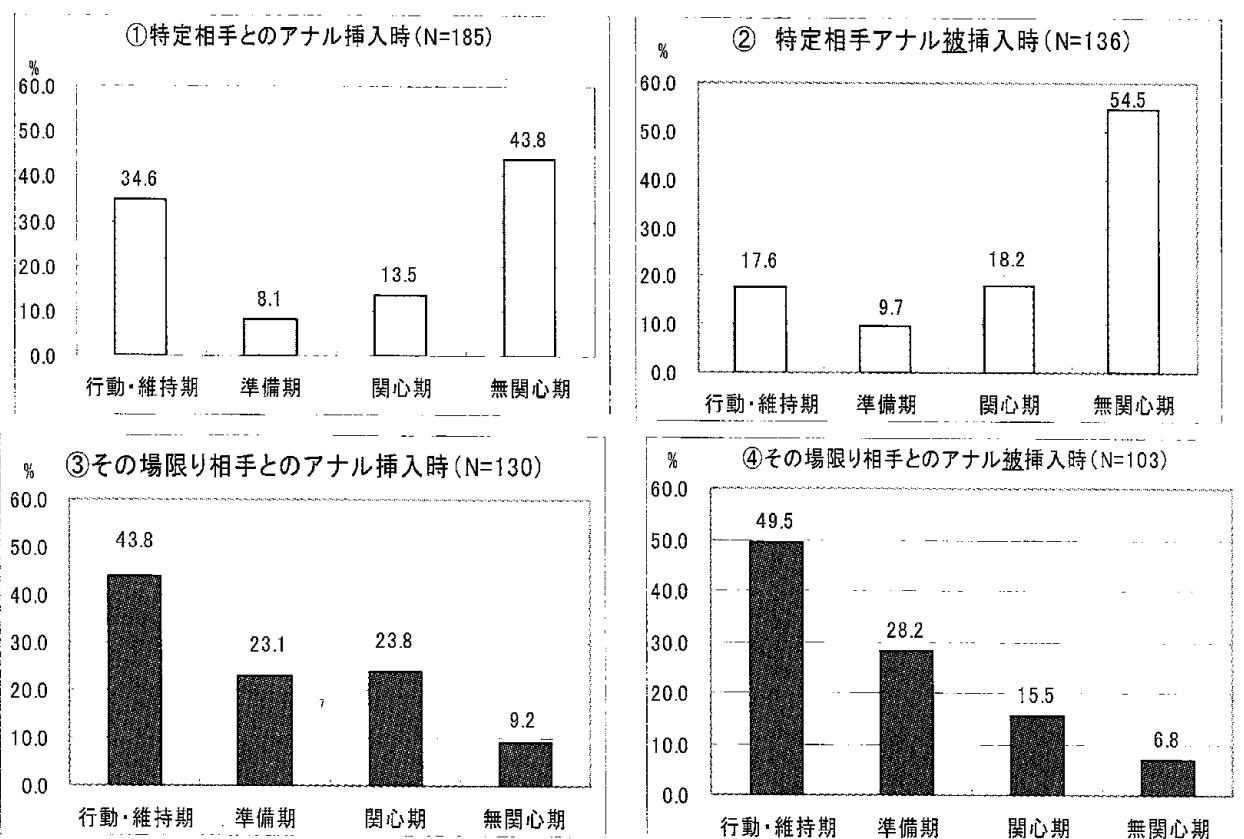


図18. 相手・行為別のアナルセックス時のコンドーム使用ステージの分布



2) コンドーム使用のステージ別の HIV 抗体検査受検行動

特定、その場限りの相手とのコンドーム使用の行動・維持期にあるものの方が、無関心期・関心期にあるものと比べて過去 1 年間の HIV 抗体検査受検率が高かった。その場限りの相手とのAnalセックス時のコンドーム使用のステージと受検率には有意な関連が見られた。

3) コンドーム使用のステージ別の MASH 大阪の予防プログラムとの接触率

① MASH 大阪コミュニティーペーパーSaL+の受け取り・購読率どの行為のコンドーム使用のステージにおいても受け取り率は 60%を超えており、ステージによる有意な差はなかった。しかしいずれの行為においても無関心期の受け取り・購読率は関心期、準備期、行動期の受け取り率より低かった。

②MASH 大阪コンドーム持ち帰り

どのステージにおいても 7 割から 8 割の持ち帰り率であり、ステージによる差はなかった。

③MASH 大阪エイズ予防啓発プログラム PLUSへの参加と認知

特定相手とのAnalセックス被挿入時のコンドーム使用ステージと参加・認知率には関連が見られた。全体的には無関心期にあるものが最も参加率は低く、認知率も低い傾向にあった。またいずれのセックス時のコンドーム使用においても準備期のあるものの方が関心期のものより参加率が高かった。

④ドロップインセンター dista 立ち寄り経験と認知率

いずれの行為においても無関心期の認知率は最も低かった。

図19. コンドーム使用ステージ別の過去1年検査受検率

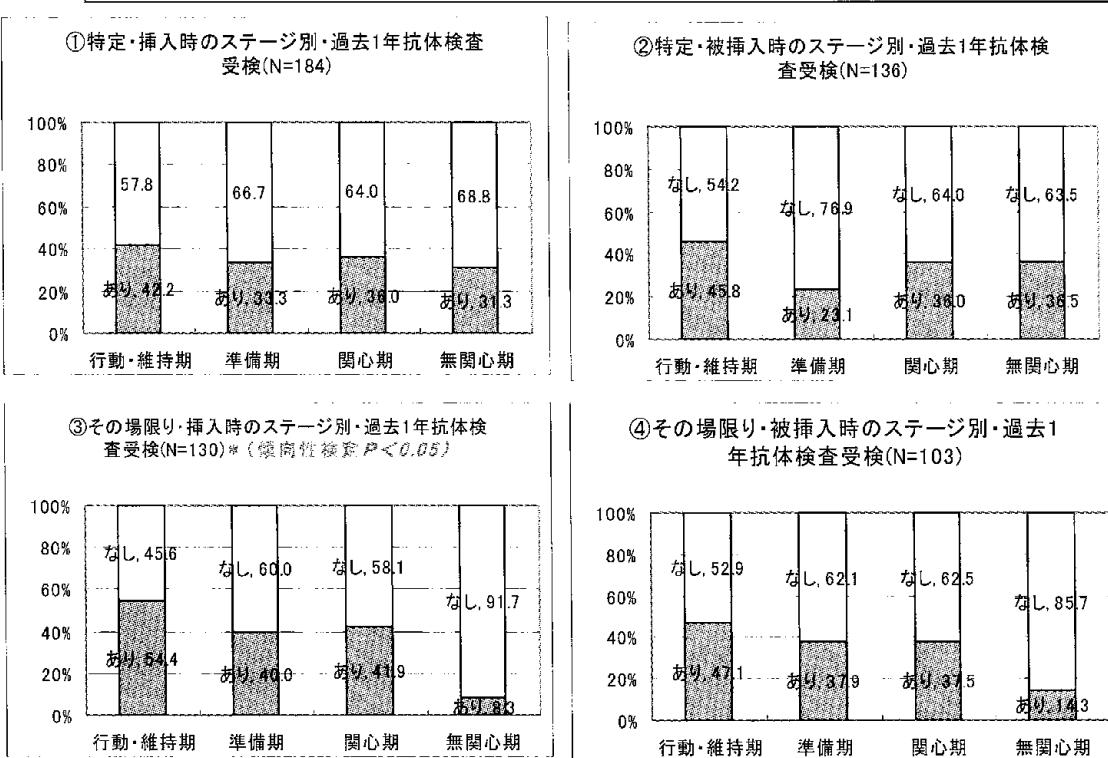


図20. コンドーム使用ステージ別のMASH大阪予防情報誌SaL+の受け取り・購読

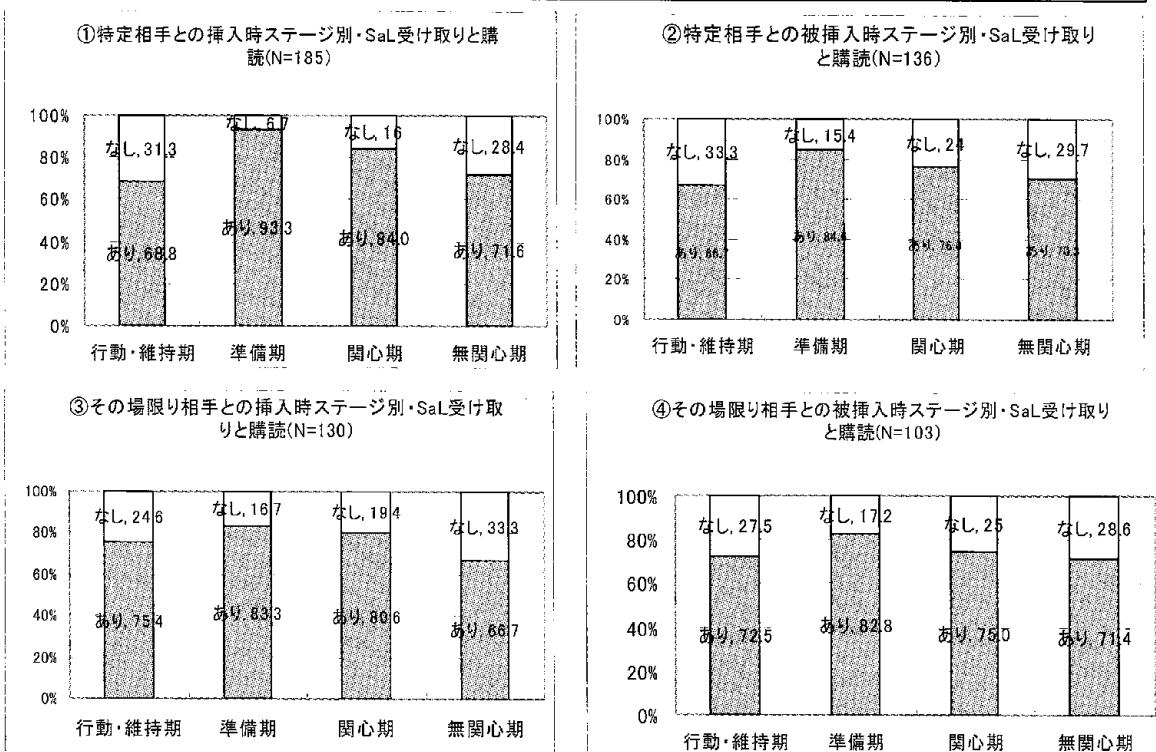


図21. コンドーム使用ステージ別のMASH大阪コンドーム持ち帰り率

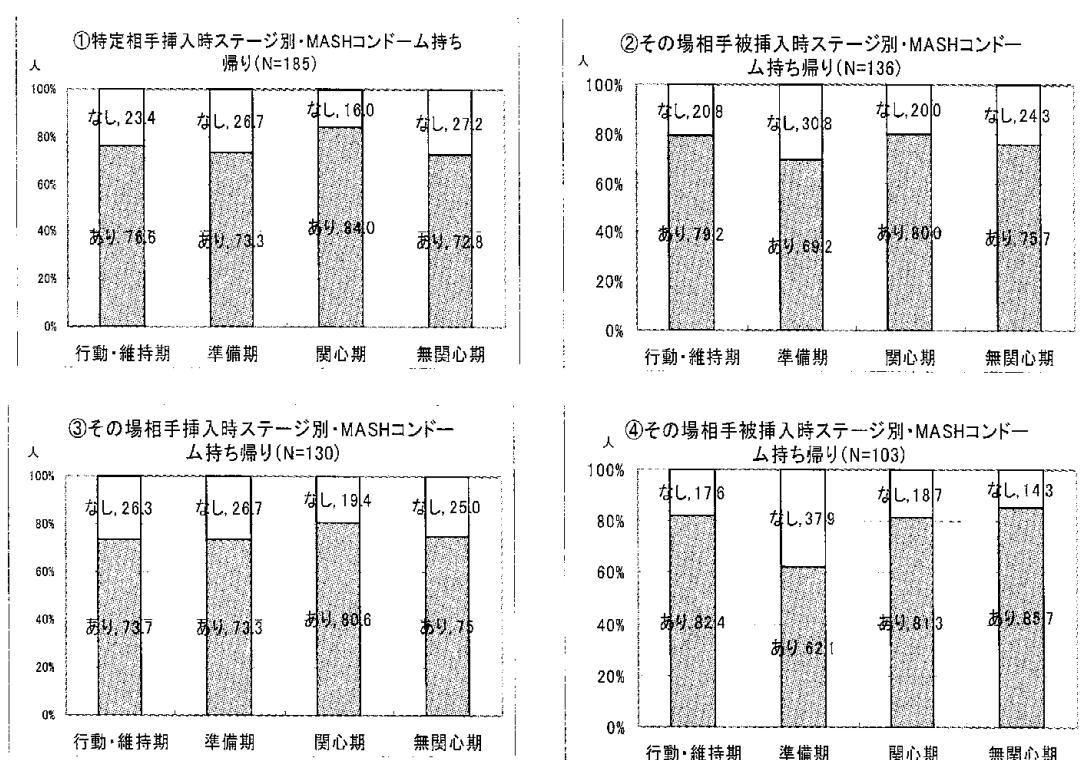


図22. ステージ別のドロップインセンターDISTA立ち寄り・認知率

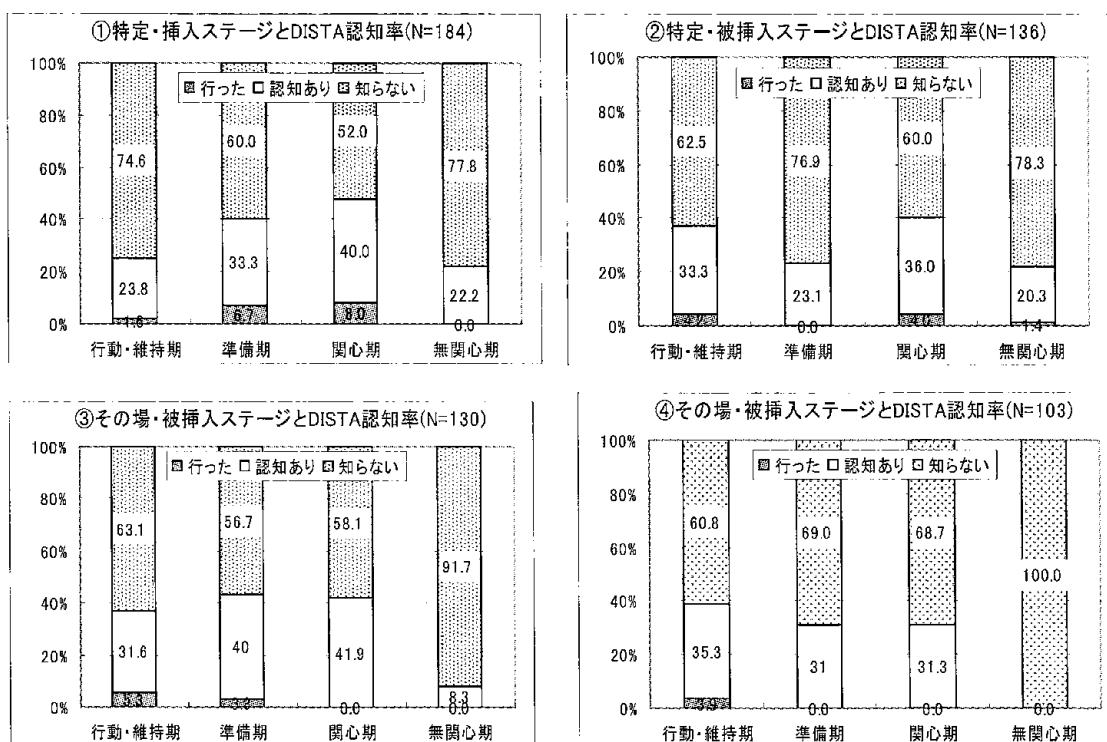


図23. ステージ別のドロップインセンターDISTA立ち寄り・認知率

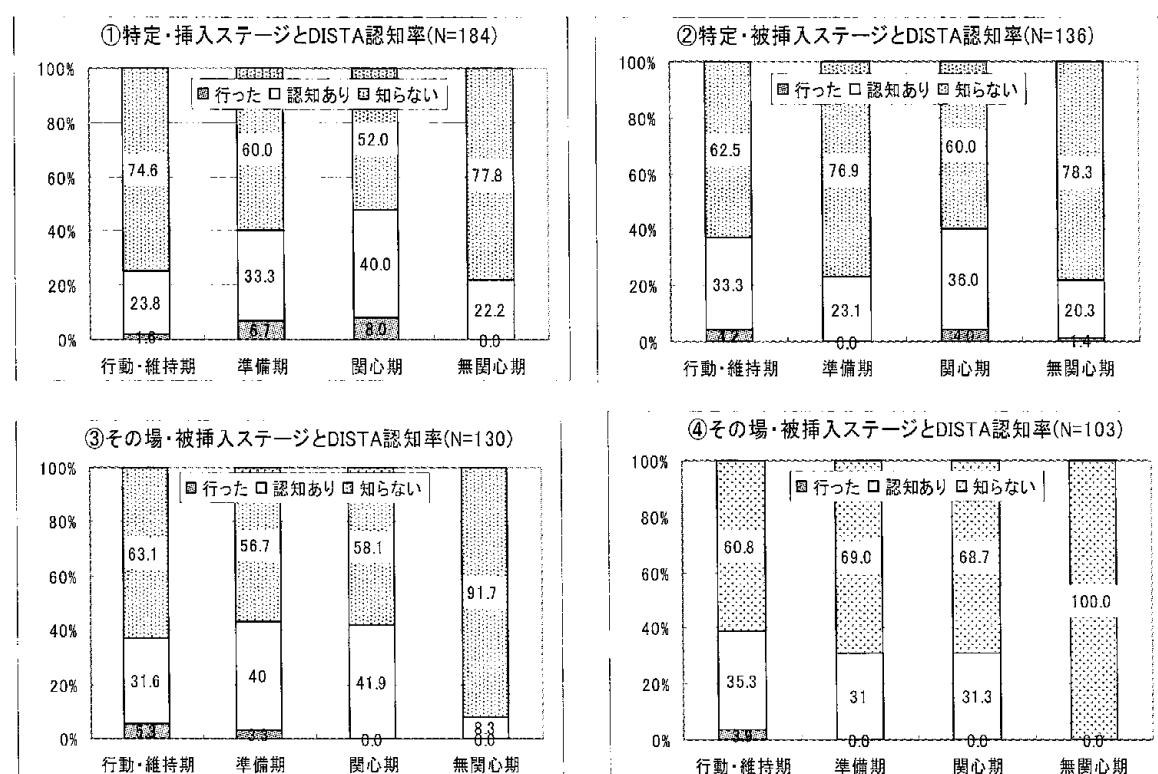


図 24 相手・行為別コンドーム使用ステージと HIV 感染予防に対する価値観・規範 ①

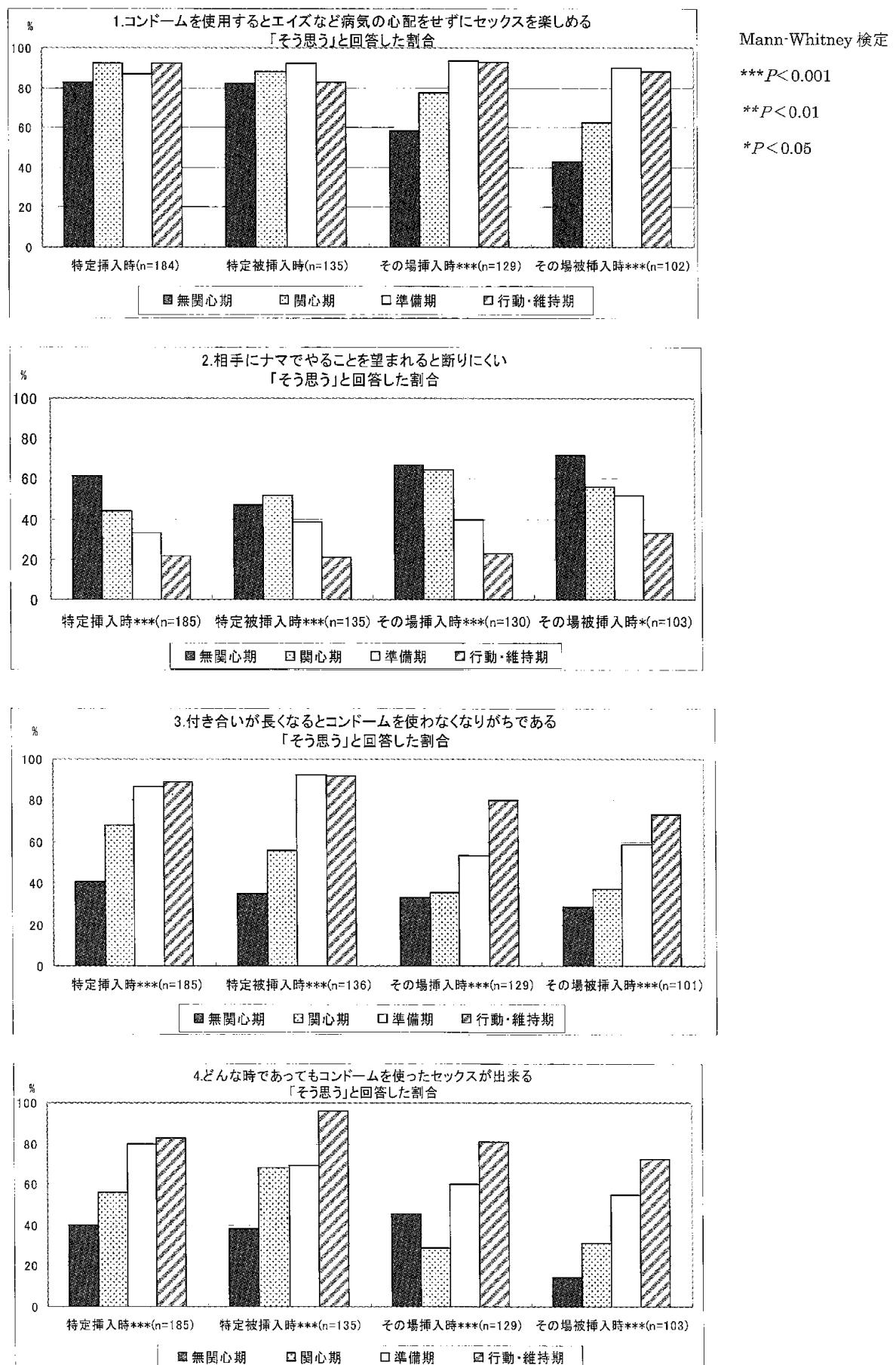
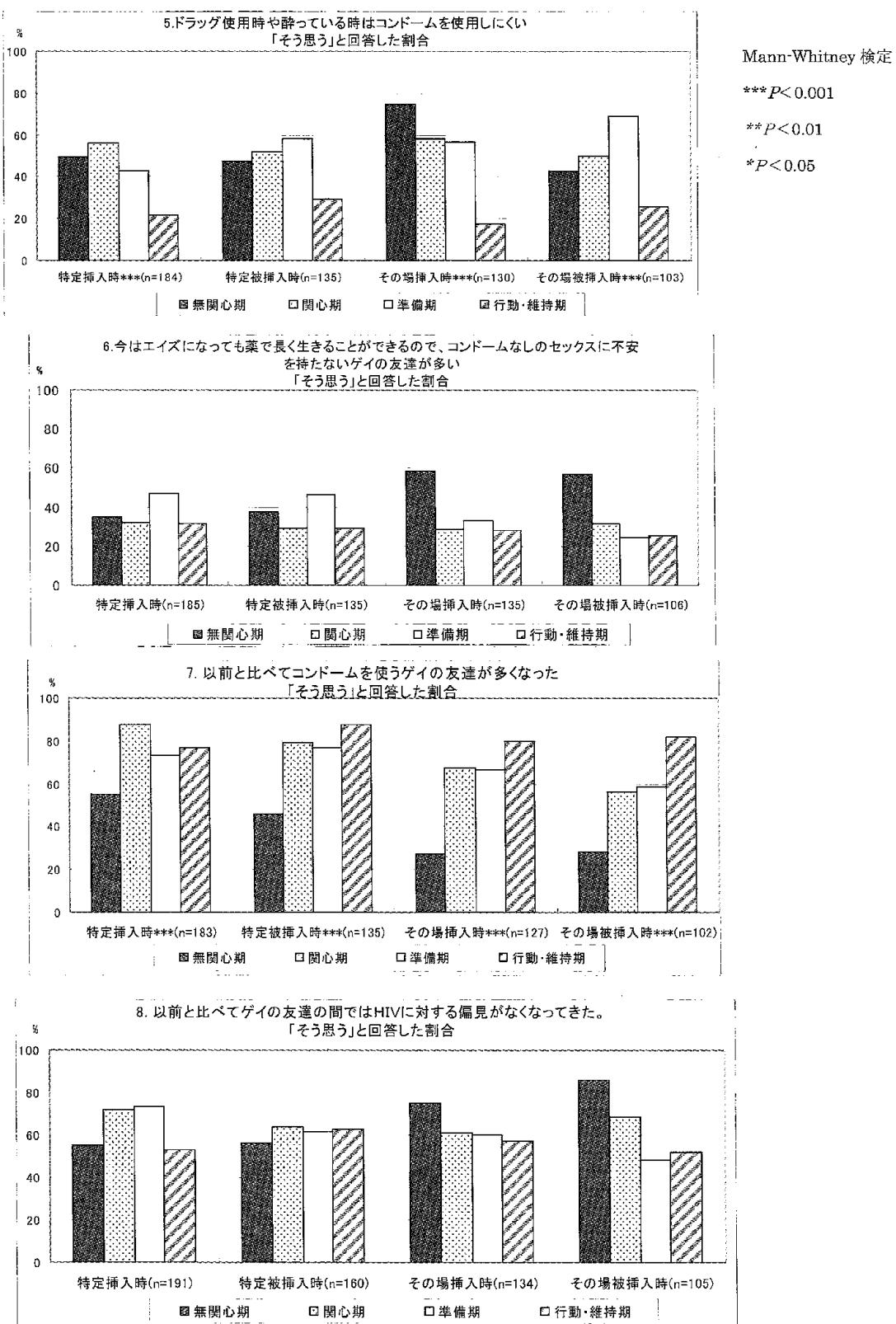


図 25 相手・行為別コンドーム使用ステージと HIV 感染予防に対する価値観・規範 ②



4) コンドーム使用ステージ別の HIV 感染予防規範・価値観

HIV 感染予防に対する規範や価値観は計 8 間の質問にて尋ね、回答選択肢は「全くそう思わない」から「大変強くそう思う」の 5 段階であった。大変強く、強く、まあそう思うと回答したものと「そう思う」としてまとめ、それ以外を「思わない」にまとめて分析を行った。各行動のステージと HIV 感染予防に対する規範や価値観の関連を調べるため Mann-Whitney 検定を用いて傾向性の分析を行った。その結果、「コンドームを使うと病気の心配をせずに病気を楽しめる」「付き合いが長くなるとコンドームをつけなくなりがちである」「どんな時であってもコンドームをつけてセックスができる」「以前と比べてコンドームを使うゲイの友達が多くなった」の間に「そう思う」と回答したものと「思わない」と回答したものの割合は行動が維持期に向かうほど高くなっていた。逆に「相手にナマでやることをのぞまれると断りにくい」「ドラッグを使っているときや酔っている時はコンドームを使ったセックスをしにくい」と回答したものの割合は無関心期に向かうほど高くなっていた(図 24-25)。

D. 考察

本調査により、MASH 大阪が直接クライアントに配布を行ってきた予防啓発資材の認知、受け取り率は 60-70%と高率であることが明らかとなった。また、MASH 大阪の予防プログラムへの接触の程度や認知率、HIV 抗体検査受検行動、性感染症の既往、HIV 感染のリスク認識、性行動、コンドーム使用行動、ドラッグ使用、コンドーム使用への意図は年齢層との関連がみられ、今後の大阪地域の予防活動の指針となるデータを得ることが可能となった。

コンドーム使用の行動変化ステージの分布は性行為の相手別で異なり、その場限りの相手とのコンドーム使用においては、特定相手との

コンドーム使用よりも行動期、行動維持期にあるものがより多いことが明らかとなった。行動変化ステージと予防啓発プログラムの接觸・認知率にも関連が見られ、無関心期、関心期にあるものは行動、行動維持期にあるものに比べて MASH 大阪の予防啓発プログラムの認知率が低いことが明らかとなった。HIV 感染予防の価値観、予防行動の規範も行動変化ステージと関連が見られ、行動変化ステージが維持期に近づくほど、自分の周囲にコンドーム使用者が増加している、コンドームを使用すると病気の心配なく性行為を行えるものの割合が高くなっていることが明らかとなった。

MASH 大阪が予防啓発のアウトリーチ活動を行っているクライアントに対して、商業施設の協力を得て精密な質問紙調査を実施するのは初めての試みであったが、比較的高率な回収率を得ることができた。このように直接クライアントに対して質問紙調査を実施することで、より詳細な活動の評価や新たなニーズの掘り起こしが可能となると考える。今後も方法に改良を重ねながら、このような調査を継続的に実施していくことで MSM に対する HIV/STI 感染予防活動の評価が可能になるであろう。

この研究成果を踏まえ、予防活動の達成度を評価する一方で、介入が行き届いていない層を明確化するとともに、その層に対していかに効果的に働きかけるかを考案していく必要がある。またコンドーム使用行動の変化ステージに関連する因子をより明確にし、より対象者を維持期に向かうことを支援するにはどのような因子に働きかけることが効果的なのかを考慮に入れた予防活動を実施することが望まれる。

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

* χ^2 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
居住地					
大阪	141 (69.5)	147 (70.3)	88 (72.7)	376 (70.5)	0.413
大阪を除く近畿圏	41 (24.1)	44 (21.1)	27 (22.3)	120 (22.6)	
その他	13 (6.4)	18 (8.6)	6 (5.0)	37 (6.9)	
合計	195 (100.0)	209 (100.0)	121 (100.0)	533 (100.0)	
セクシュアリティー					
ゲイ	179 (89.1)	190 (90.5)	99 (81.8)	468 (88.0)	0.160
バイセクシュアル	19 (9.5)	15 (7.1)	19 (15.7)	53 (10.0)	
その他	3 (1.5)	5 (2.4)	3 (2.5)	11 (2.1)	
合計	201 (100.0)	210 (100.0)	121 (100.0)	532 (100.0)	
パソコンインターネットの利用(過去1年)					
あり	141 (70.9)	170 (81.0)	77 (63.1)	388 (73.1)	0.001
なし	58 (29.1)	40 (19.0)	45 (36.9)	143 (26.9)	
合計	199 (100.0)	210 (100.0)	122 (100.0)	531 (100.0)	
携帯webの利用(過去1年)					
あり	141 (70.9)	146 (69.5)	39 (32.0)	326 (61.4)	0.000
なし	58 (29.1)	64 (30.5)	83 (68.0)	205 (38.6)	
合計	199 (100.0)	210 (100.0)	122 (100.0)	531 (100.0)	
過去6ヶ月の施設利用(複数回答)					
ゲイバー	194 (95.6)	206 (98.1)	121 (99.2)	521 (97.4)	0.095
ゲイナイト	76 (37.4)	48 (22.9)	6 (4.9)	130 (24.3)	0.000
PC出会い系	76 (37.4)	69 (32.9)	14 (11.5)	159 (29.7)	0.000
携帯出会い系	72 (35.5)	55 (26.2)	12 (9.8)	139 (26.0)	0.000
mixi(ソーシャルネットワーキングサイト)	87 (42.9)	88 (41.9)	17 (13.9)	192 (35.9)	0.000
サウナ系ハッテン場	97 (47.8)	70 (33.3)	35 (28.7)	202 (37.8)	0.001
マンション系ハッテン場	43 (21.2)	30 (14.3)	2 (1.6)	75 (14.0)	0.000
ゲイショップ	97 (47.8)	90 (42.9)	41 (33.6)	228 (42.6)	0.044
その他のハッテン場	37 (18.2)	31 (14.8)	14 (11.5)	82 (15.3)	0.253
ドロップインセンターDISTA認知					
行ったことがある	1 (0.5)	6 (2.9)	1 (0.8)	8 (1.5)	0.009
知っている	71 (35.0)	48 (23.0)	27 (22.1)	146 (27.3)	
知らない	131 (64.5)	155 (74.2)	94 (77.0)	380 (71.2)	
合計	203 (100.0)	209 (100.0)	122 (100.0)	534 (100.0)	
MASH大阪ホームページの認知					
あり	29 (14.5)	36 (17.3)	12 (9.8)	77 (14.5)	0.176
なし	171 (85.5)	172 (82.7)	110 (90.2)	453 (85.5)	
合計	200 (100.0)	208 (100.0)	122 (100.0)	530 (100.0)	
MASH大阪イベントの参加経験					
PLUS(エイズ予防啓発イベント)	34 (16.9)	17 (8.2)	10 (8.3)	61 (11.5)	0.010
SWITCH(検査イベント)	16 (8.1)	19 (9.2)	5 (4.5)	40 (7.8)	0.331
basement[g]	10 (5.1)	7 (3.4)	0 (0.0)	17 (3.3)	0.036
Living Togetherミーティング	1 (0.5)	1 (0.5)	0 (0.0)	2 (0.4)	1.000

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

* χ^2 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値 *
MASH大阪イベントの認知(行ったことがあるものは除く)					
PLUS(エイズ予防啓発イベン ト)	59 (29.4)	55 (26.4)	26 (21.5)	140 (26.4)	0.006
SWITCH(HIV抗体検査イベン ト)	37 (18.7)	42 (20.3)	17 (15.5)	96 (18.6)	0.183
basement[g] エイズ予防啓発ク ラブイベント)	21 (10.7)	27 (13.1)	6 (5.6)	54 (10.6)	0.013
Living Togetherミーティング (HIV感染者の手記リーディン グ)	17 (8.7)	18 (8.8)	8 (7.5)	43 (8.5)	0.900
DISTAでのイベントの認知(参加者も含む)(複数回答)					
CHAT(STI勉強会)	30 (15.1)	27 (12.9)	14 (11.7)	71 (13.4)	0.667
Café link 友達作りイベント	27 (13.6)	21 (10.2)	10 (9.0)	58 (11.3)	0.388
Step 友達作りイベント	19 (9.6)	15 (7.3)	6 (5.4)	40 (7.8)	0.401
サロンドオニ	19 (9.6)	12 (5.8)	7 (6.5)	38 (7.4)	0.335
(旧)STD勉強会	45 (22.8)	31 (15.0)	22 (19.8)	98 (19.1)	0.134
手話教室	47 (24.0)	40 (19.4)	20 (18.2)	107 (20.9)	0.385
気功教室	33 (16.8)	21 (10.2)	11 (10.1)	65 (12.7)	0.098
語学教室	41 (20.8)	36 (17.5)	23 (20.7)	100 (19.5)	0.648
中国茶会(サークル)	50 (25.1)	27 (13.1)	16 (14.4)	93 (18.0)	0.004
CAMP	23 (11.7)	12 (5.8)	9 (8.2)	44 (8.6)	0.106
コミュニティーペーパーSaL+*の認知(*:MASH大阪のHIV予防誌)					
あり	151 (74.4)	135 (64.3)	72 (59.5)	358 (67.0)	0.012
なし	52 (25.6)	75 (35.7)	49 (40.5)	176 (33.0)	
合計	203 (100.0)	210 (100.0)	121 (100.0)	534 (100.0)	
コミュニティーペーパーSaL+入手経験					
あり	153 (75.4)	140 (66.7)	75 (62.0)	368 (68.9)	0.028
なし	50 (24.6)	70 (33.3)	46 (38.0)	166 (31.1)	
合計	203 (100.0)	210 (100.0)	121 (100.0)	534 (100.0)	
コミュニティーペーパーSaL+入手場所(複数回答)					
ゲイバー	146 (95.0)	137 (98.6)	72 (97.3)	355 (97.0)	0.316
路上	3 (2.0)	0 (0.0)	1 (1.4)	4 (1.1)	0.258
Dista	6 (3.9)	3 (2.2)	3 (4.1)	12 (3.3)	0.644
ゲイショップ	8 (5.2)	11 (7.9)	3 (4.1)	22 (6.0)	0.532
ハッテン場	17 (11.1)	9 (6.5)	1 (1.4)	27 (7.4)	0.020
コミュニティーペーパーSaL+持ち帰り経験					
あり	103 (68.2)	100 (71.4)	33 (45.2)	236 (64.8)	0.000
なし	48 (31.8)	40 (28.6)	40 (54.8)	128 (35.2)	
合計	151 (100.0)	140 (100.0)	73 (100.0)	364 (100.0)	
過去1年間のコミュニティーペーパーSaL+購読頻度					
毎月	48 (31.6)	28 (20.3)	32 (42.7)	108 (29.6)	0.017
2-3月に1回	64 (42.1)	71 (51.4)	22 (29.3)	157 (43.0)	
半年に1回	15 (9.9)	13 (9.4)	10 (13.3)	38 (10.4)	
1回だけ	20 (13.2)	15 (10.9)	8 (10.7)	43 (11.8)	
読んだことはない	5 (3.3)	11 (8.0)	3 (4.0)	19 (5.2)	
合計	152 (100.0)	138 (100.0)	75 (100.0)	365 (100.0)	

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

* χ^2 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
コミュニケーションペーパーSaL+を読んだ理由(複数回答)					
特集記事が読みたかった	113 (75.3)	98 (73.7)	62 (83.8)	273 (76.5)	0.237
商業施設mapが便利だから	51 (34.0)	39 (29.3)	28 (37.8)	118 (33.1)	0.436
おもしろそうだから	55 (36.7)	41 (30.8)	22 (29.7)	118 (33.1)	0.460
表紙にひかれたから	26 (17.3)	29 (21.8)	10 (13.5)	65 (18.2)	0.312
役に立つ情報がありそうだから	44 (29.3)	38 (28.6)	24 (32.4)	106 (29.7)	0.837
バーにあった	79 (52.7)	81 (60.9)	46 (62.2)	206 (57.7)	0.257
コミュニケーションペーパーSaL+購読記事(複数回答)					
マップ(堂山商業施設地図)	126 (85.1)	112 (84.2)	58 (82.9)	296 (84.3)	0.910
STIミニ辞典	44 (29.7)	26 (19.5)	8 (11.4)	78 (22.2)	0.006
映画情報	41 (27.7)	26 (19.5)	27 (38.6)	94 (26.8)	0.014
HIV検査情報	56 (37.8)	49 (36.8)	17 (24.3)	122 (34.8)	0.119
コミュニケーションセンターdistal情報	30 (20.3)	14 (10.5)	10 (14.3)	54 (15.4)	0.075
グルメ情報	22 (14.9)	15 (11.3)	11 (15.7)	48 (13.7)	0.585
ケツマンDASH(商業施設情報)	41 (27.7)	25 (18.8)	11 (15.7)	77 (21.9)	0.073
女装画報	34 (23.0)	12 (9.0)	7 (10.0)	53 (15.1)	0.002
HIV陽性者のエッセイ	30 (20.3)	22 (16.5)	10 (14.3)	62 (17.7)	0.508
しつとこ(セックスライフと健康に関する情報)	50 (33.8)	31 (23.3)	19 (27.1)	100 (28.5)	0.146
その他	3 (2.0)	4 (3.0)	0 (0.0)	7 (2.0)	0.346
コミュニケーションペーパーSaL+のお友達への紹介経験					
あり	31 (20.4)	20 (14.5)	14 (19.2)	65 (17.9)	0.404
なし	121 (79.6)	118 (85.5)	59 (80.8)	298 (82.1)	
合計	152 (100.0)	138 (100.0)	73 (100.0)	363 (100.0)	
MASH大阪コンドームの認知					
あり	145 (73.2)	146 (71.2)	86 (74.1)	377 (72.6)	0.829
なし	53 (26.8)	59 (28.8)	30 (25.9)	142 (27.4)	
合計	198 (100.0)	205 (100.0)	116 (100.0)	519 (100.0)	
MASH大阪コンドーム持ち帰り経験					
あり	129 (63.9)	135 (64.3)	75 (62.0)	339 (63.6)	0.912
なし	73 (36.1)	75 (35.7)	46 (38.0)	194 (36.4)	
合計	202 (100.0)	210 (100.0)	121 (100.0)	533 (100.0)	
MASH大阪コンドーム入手場所(バー、複数回答)					
堂山	114 (91.2)	107 (79.3)	40 (56.3)	261 (78.9)	0.000
ミナミ	14 (11.2)	44 (32.6)	29 (40.8)	87 (26.3)	0.000
新世界	0 (0.0)	8 (5.9)	7 (9.9)	15 (4.5)	0.004
その他	4 (3.2)	2 (1.5)	1 (1.4)	1 (1.4)	0.564
MASH大阪コンドーム持ち帰り頻度					
月1回以上	38 (29.5)	33 (24.8)	18 (24.3)	89 (26.5)	0.257
2-3ヶ月に一回以上	38 (29.5)	33 (24.8)	14 (18.9)	85 (25.3)	
半年に1回以上	20 (15.5)	30 (22.6)	13 (17.6)	63 (18.8)	
1回だけ	33 (25.6)	37 (27.8)	29 (39.2)	99 (29.5)	
合計	129 (100.0)	133 (100.0)	74 (100.0)	336 (100.0)	
MASH大阪コンドームを持ち帰った理由					
デザインが面白かった	67 (53.2)	44 (33.6)	14 (18.9)	125 (37.8)	0.000
使う予定があった	32 (25.4)	42 (32.1)	24 (32.4)	98 (29.6)	0.420
無料だから	79 (62.7)	73 (55.7)	50 (67.6)	202 (61.0)	0.220
なんとなく	35 (27.8)	39 (29.8)	18 (24.3)	92 (27.8)	0.705
お店の人からもらった	36 (28.6)	41 (31.3)	23 (31.1)	100 (30.2)	0.878
その他	7 (5.6)	4 (3.1)	2 (2.7)	13 (3.9)	0.486

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

* χ^2 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
MASH大阪のコンドームの使用?(持ち帰り経験のあるもののみ)					
使った	84 (65.6)	91 (67.9)	48 (65.8)	223 (66.6)	0.913
使わなかった	44 (34.4)	43 (32.1)	25 (34.2)	112 (33.4)	
合計	128 (100.0)	134 (100.0)	73 (100.0)	335 (100.0)	
MASH大阪コンドーム配布休止後の行動変化					
コンドームを買って使うように					
なった	27 (21.6)	19 (14.4)	9 (12.3)	55 (16.7)	0.434
コンドームを使わなくなった	7 (5.6)	11 (8.3)	3 (4.1)	21 (6.4)	
変わらない	82 (65.6)	92 (69.7)	57 (78.1)	231 (70.0)	
その他	9 (7.2)	10 (7.6)	4 (5.5)	23 (7.0)	
合計	125 (100.0)	132 (100.0)	73 (100.0)	330 (100.0)	
過去6ヶ月間にコンドームを購入した経験					
あり	66 (33.2)	66 (31.9)	32 (26.9)	164 (31.2)	0.489
なし	133 (66.8)	141 (68.1)	87 (73.1)	361 (68.8)	
合計	199 (100.0)	207 (100.0)	119 (100.0)	525 (100.0)	
過去6ヶ月のコンドーム購入場所(複数回答)					
ドラッグストア	35 (53.8)	43 (65.2)	22 (68.8)	100 (61.3)	0.261
コンビニ・スーパー	24 (36.9)	17 (25.8)	4 (12.5)	45 (27.6)	0.037
通販ネット	2 (3.1)	0 (0.0)	1 (3.1)	3 (1.8)	0.353
ゲイショップ	8 (12.3)	17 (25.8)	2 (6.3)	27 (16.6)	0.025
ハッテン場	7 (10.8)	5 (7.6)	1 (3.1)	13 (8.0)	0.421
その他	4 (6.2)	5 (7.6)	5 (15.6)	14 (8.6)	0.273
過去1年間のHIV抗体検査受検					
あり	71 (35.0)	59 (28.2)	20 (16.7)	150 (28.2)	0.002
なし	132 (65.0)	150 (71.8)	100 (83.3)	382 (71.8)	
合計	203 (100.0)	209 (100.0)	120 (100.0)	532 (100.0)	
過去1年間のHIV抗体検査の場所(過去1年受検者のみ、複数回答)					
病院・医院	27 (38.6)	19 (32.2)	6 (30.0)	52 (34.9)	0.665
保健所・保健センター	32 (45.7)	24 (40.7)	10 (50.0)	66 (44.3)	0.728
木曜・夜間検査	7 (10.0)	5 (8.5)	1 (5.0)	13 (8.7)	0.780
土曜検査	6 (8.6)	13 (22.0)	2 (10.0)	21 (14.1)	0.078
日曜検査	1 (1.4)	1 (1.7)	0 (0.0)	2 (1.3)	0.847
名古屋NLGR	3 (4.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (2.0)	0.178
その他	1 (1.4)	3 (5.1)	2 (10.0)	6 (4.0)	0.198
HIV抗体検査印象が悪かった経験(過去1年受検者のみ)					
あり	13 (18.6)	5 (8.6)	2 (10.0)	20 (13.5)	0.231
ない	57 (81.4)	53 (91.4)	18 (90.0)	128 (86.5)	
合計	70 (100.0)	58 (100.0)	20.0 (100.0)	148 (100.0)	
郵送HIV検査の利用経験(生涯)					
あり	3 (1.5)	4 (1.9)	1 (0.8)	8 (1.5)	
なし	199 (98.5)	203 (98.1)	120 (99.2)	522 (98.5)	
合計	202 (100.0)	207 (100.0)	121 (100.0)	530 (100.0)	
郵送HIV検査利用時の不安(郵送検査利用者のみ)					
あり	2 (66.7)	0 (0.0)	1 (100.0)	3 (37.5)	
なし	1 (33.3)	4 (100.0)	0 (0.0)	5 (62.5)	
合計	3 (100.0)	4 (100.0)	1 (100.0)	8 (100.0)	
性感染症の罹患経験(生涯)					
あり	55 (27.1)	57 (27.4)	47 (39.2)	159 (29.9)	0.043
なし	148 (72.9)	151 (72.6)	73 (60.8)	372 (70.1)	
合計	203 (100.0)	208 (100.0)	120 (100.0)	531 (100.0)	

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

* χ^2 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
過去に罹患した性感染症の種類(既往歴のある者のみ、複数回答)					
梅毒	12 (22.2)	18 (31.6)	10 (21.3)	40 (25.3)	0.394
B型肝炎	10 (18.5)	12 (21.1)	3 (6.4)	25 (15.8)	0.100
A型肝炎	0 (0.0)	4 (7.0)	3 (6.4)	7 (4.4)	0.148
クラミジア	11 (20.4)	8 (14.0)	17 (32.6)	36 (22.8)	0.024
淋病	12 (22.2)	14 (24.6)	22 (46.8)	48 (30.4)	0.014
HIV感染症	3 (5.6)	5 (8.8)	1 (2.1)	9 (5.7)	0.346
アーマバ赤痢	0 (0.0)	2 (3.5)	1 (2.1)	1 (2.1)	0.396
ケジラミ	13 (24.1)	6 (10.5)	2 (4.3)	21 (13.3)	0.010
コンジローマ	4 (7.4)	5 (8.8)	0 (0.0)	9 (5.7)	0.126
ヘルペス	2 (3.7)	2 (3.5)	0 (0.0)	4 (2.5)	0.419
その他	4 (7.4)	4 (7.0)	2 (4.3)	10 (6.3)	0.782
性感染症罹患時の受診病院の認知					
知っている	101 (50.2)	110 (53.9)	70 (58.8)	281 (53.6)	0.329
知らない	100 (49.8)	94 (46.1)	49 (41.2)	243 (46.4)	
合計	201 (100.0)	204 (100.0)	119 (100.0)	524 (100.0)	
HIVに感染する可能性の認識					
絶対ない	27 (13.5)	17 (8.3)	13 (10.9)	57 (10.9)	0.029
ほとんどない	57 (28.5)	71 (34.6)	56 (47.1)	184 (35.1)	
五分五分	49 (24.5)	57 (27.8)	18 (15.1)	124 (23.7)	
十分可能性がある	36 (18.0)	31 (15.1)	14 (11.8)	81 (15.5)	
わからない	31 (15.5)	29 (14.1)	18 (15.1)	78 (14.9)	
合計	200 (100.0)	205 (100.0)	119 (100.0)	524 (100.0)	
HIVに感染した友達、知り合いの有無					
いる	47 (23.7)	68 (33.5)	27 (22.7)	142 (27.3)	0.039
いない	151 (76.3)	135 (66.5)	92 (77.3)	378 (72.7)	
合計	198 (100.0)	203 (100.0)	119 (100.0)	520 (100.0)	
HIV感染者の仕事や日常生活の認知					
知っている	45 (22.5)	64 (31.4)	27 (22.7)	136 (26.0)	0.082
知らない	155 (77.5)	140 (68.6)	92 (77.3)	387 (74.0)	
合計	200 (100.0)	204 (100.0)	119 (100.0)	523 (100.0)	
エイズ関連知識(正答率)					
HIVは延命治療可能	132 (65.0)	138 (66.3)	76 (63.3)	346 (65.2)	0.780
感染後2-3日で検査結果判明	142 (70.0)	158 (76.0)	84 (70.0)	384 (72.3)	0.347
HIV/STD重複感染	116 (57.1)	112 (54.1)	65 (55.6)	296 (55.6)	0.646
梅毒はオーラルセックスやリミングで感染	137 (67.5)	149 (71.6)	83 (69.2)	369 (69.5)	0.399
迅速検査では擬陽性が出ることがある	96 (47.3)	99 (47.8)	55 (46.2)	250 (47.3)	0.951
MSMでの感染者は増加	175 (86.2)	190 (91.3)	103 (85.8)	468 (88.1)	0.366
過去6ヶ月のエイズ情報の入手					
あり	113 (55.9)	117 (56.5)	60 (50.0)	290 (54.8)	0.479
なし	89 (44.1)	90 (43.5)	60 (50.0)	239 (45.2)	
合計	202 (100.0)	207 (100.0)	120 (100.0)	529 (100.0)	

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

* χ^2 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
エイズ関連の情報入手源					
人づて	39 (34.5)	35 (30.2)	16 (27.1)	198 (68.8)	0.579
口コミ	39 (19.3)	35 (17.0)	16 (13.4)	90 (17.1)	0.403
ゲイ雑誌	52 (46.0)	50 (43.1)	31 (52.5)	133 (46.2)	0.496
インターネット	52 (46.0)	56 (48.3)	10 (16.9)	118 (41.0)	0.000
携帯サイト	11 (9.7)	7 (6.0)	0 (0.0)	18 (6.3)	0.043
MASH大阪HP	5 (4.4)	6 (5.2)	1 (1.7)	12 (4.2)	0.545
電話相談	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
SAL+	18 (15.9)	20 (17.2)	8 (13.6)	46 (16.0)	0.821
保健所	9 (8.0)	9 (7.8)	1 (1.7)	19 (6.6)	0.235
その他	11 (9.7)	12 (10.3)	8 (13.6)	31 (10.8)	0.731
学校	2 (1.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.7)	
TV	1 (0.9)	3 (2.6)	2 (3.4)	6 (2.1)	0.486
新聞	1 (0.9)	3 (2.6)	3 (5.1)	7 (2.4)	0.234
病院	2 (1.8)	1 (0.9)	0 (0.0)	3 (1.0)	0.538
男性との性行為経験(アナルセックス、オーラルセックス)					
あり	189 (93.1)	203 (96.7)	120 (98.4)	512 (95.7)	0.052
なし	14 (6.9)	7 (3.3)	2 (1.6)	23 (4.3)	
合計	203 (100.0)	210 (100.0)	122 (100.0)	535 (100.0)	
初めて男性と性交した年齢					
20歳未満	129 (68.6)	85 (42.5)	50 (43.1)	264 (52.4)	0.000
20-29歳	58 (30.9)	106 (53.0)	51 (44.0)	215 (42.7)	
30-39歳	1 (0.5)	9 (4.5)	8 (6.9)	18 (3.6)	
40歳以上	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (6.0)	7 (1.4)	
合計	188 (100.0)	200 (100.0)	116 (100.0)	504 (100.0)	
初めて男性と性交したときの相手の年齢					
20歳未満	49 (32.2)	34 (23.6)	23 (26.1)	106 (27.6)	0.006
20-29歳	64 (42.1)	58 (40.3)	29 (33.0)	151 (39.3)	
30-39歳	30 (19.7)	40 (27.8)	18 (20.5)	88 (22.9)	
40歳以上	9 (5.9)	12 (8.3)	18 (20.5)	39 (10.2)	
合計	152 (100.0)	144 (100.0)	88 (100.0)	384 (100.0)	
過去6ヶ月間の特定相手とのオーラルセックスの有無					
あり	141 (75.0)	149 (73.4)	88 (73.9)	378 (74.1)	0.936
なし	47 (25.0)	54 (26.6)	31 (26.1)	132 (25.9)	
合計	188 (100.0)	203 (100.0)	119 (100.0)	510 (100.0)	
過去6ヶ月の特定相手とのオーラルセックス時のコンドーム使用(する側)					
毎回使った	4 (3.1)	4 (2.9)	2 (2.5)	10 (2.8)	0.352
時々使った	9 (6.9)	11 (7.9)	1 (1.2)	21 (6.0)	
使わなかった	118 (90.1)	125 (89.3)	78 (96.3)	321 (91.2)	
合計	131 (100.0)	140 (100.0)	81 (100.0)	352 (100.0)	
過去6ヶ月の特定相手とのオーラルセックス時のコンドーム使用(される側)					
毎回使った	3 (2.3)	2 (1.5)	1 (1.3)	6 (1.8)	0.421
時々使った	9 (7.0)	8 (6.0)	1 (1.3)	18 (5.3)	
使わなかった	117 (90.7)	124 (92.5)	77 (97.5)	318 (93.0)	
合計	129 (100.0)	134 (100.0)	79 (100.0)	342 (100.0)	

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

* χ^2 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
過去6ヶ月間のその場限り相手とのオーラルセックスの有無					
あり	129 (68.6)	114 (56.2)	53 (44.9)	296 (58.2)	0.000
なし	59 (31.4)	89 (43.8)	65 (55.1)	213 (41.8)	
合計	188 (100.0)	203 (100.0)	118 (100.0)	509 (100.0)	
過去6ヶ月のその場限り相手とのオーラルセックス時のコンドーム使用(する側)					
毎回使った	5 (4.2)	6 (5.6)	2 (4.4)	13 (4.8)	0.978
時々使った	8 (6.8)	8 (7.4)	4 (8.9)	20 (7.4)	
使わなかつた	105 (89.0)	94 (87.0)	39 (86.7)	238 (87.8)	
合計	118 (100.0)	108 (100.0)	45 (100.0)	271 (100.0)	
過去6ヶ月のその場限り相手とのオーラルセックス時のコンドーム使用(される側)					
毎回使った	7 (5.7)	5 (5.0)	1 (2.5)	13 (4.9)	0.821
時々使った	6 (4.9)	8 (7.9)	3 (7.5)	17 (6.5)	
使わなかつた	109 (89.3)	88 (87.1)	36 (90.0)	233 (88.6)	
合計	122 (100.0)	101 (100.0)	40 (100.0)	263 (100.0)	
過去6ヶ月の特定相手のアナルセックスの有無					
あり	103 (54.5)	99 (49.0)	53 (44.9)	255 (50.1)	0.243
なし	86 (45.5)	103 (51.0)	65 (55.1)	254 (49.9)	
合計	189 (100.0)	202 (100.0)	118 (100.0)	509 (100.0)	
過去6ヶ月の特定相手アナルセックスの相手の人数					
1人	42 (43.8)	56 (58.9)	28 (54.9)	126 (52.1)	0.410
2-4人	36 (37.5)	22 (23.2)	14 (27.5)	72 (29.8)	
5-9人	10 (10.4)	9 (9.5)	6 (11.8)	25 (10.3)	
10人以上	8 (8.3)	8 (8.4)	3 (5.9)	19 (7.9)	
合計	96 (100.0)	95 (100.0)	51 (100.0)	242 (100.0)	
過去6ヶ月特定相手とのアナルセックス時のコンドーム使用(挿入側)					
毎回使った	24 (32.0)	30 (40.0)	11 (28.2)	65 (34.4)	0.313
使用が多い・半々	22 (29.3)	18 (24.0)	7 (17.9)	47 (24.9)	
全く不使用・不使用が多かつた	29 (38.7)	27 (36.0)	21 (53.8)	77 (40.7)	
合計	75 (100.0)	75 (100.0)	39 (99.9)	189 (100.0)	
過去6ヶ月の特定相手とのアナルセックス時のコンドーム使用(被挿入側)					
毎回使った	30 (39.5)	22 (37.9)	5 (20.8)	57 (36.1)	0.530
使用が多い・半々	18 (23.7)	12 (20.7)	7 (29.2)	37 (23.4)	
全く不使用・不使用が多かつた	28 (36.8)	24 (41.4)	12 (50.0)	64 (40.5)	
合計	76 (100.0)	58 (100.0)	24 (100.0)	158 (100.0)	
過去6ヶ月のその場限り相手のアナルセックスの有無					
あり	84 (44.7)	69 (34.0)	28 (23.7)	181 (35.6)	0.001
なし	104 (55.3)	134 (66.0)	90 (76.3)	328 (64.4)	
合計	188 (100.0)	203 (100.0)	118 (100.0)	509 (100.0)	
過去6ヶ月のその場限りのアナルセックスの相手の人数					
1人	11 (16.2)	12 (17.6)	6 (25.0)	29 (18.1)	0.633
2-4人	26 (38.2)	17 (25.0)	6 (25.0)	49 (30.6)	
5-9人	12 (17.6)	13 (19.1)	5 (20.8)	30 (18.8)	
10人以上	19 (27.9)	26 (38.2)	7 (29.2)	52 (32.5)	
合計	68 (100.0)	68 (100.0)	24 (100.0)	160 (100.0)	
過去6ヶ月のその場限りのアナルセックス相手と出会った場所(複数回答)					
ハッテン場	64 (22.9)	55 (82.1)	20 (74.1)	139 (78.5)	0.631
バー	17 (20.5)	10 (4.9)	10 (37.0)	37 (20.9)	0.058
出会い系サイト	41 (49.4)	21 (31.3)	5 (18.5)	67 (37.9)	0.006
クラブ	5 (6.0)	3 (4.5)	0 (0.0)	8 (4.5)	0.425
その他	8 (9.6)	6 (9.0)	2 (7.4)	16 (9.0)	0.940

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

* χ^2 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
過去6ヶ月アナルセックス時のコンドーム使用(その場限り・挿入側)					
毎回使った	26 (41.9)	25 (49.0)	10 (47.6)	61 (45.5)	0.521
使用が多い・半々	19 (30.6)	17 (33.3)	4 (19.0)	40 (29.9)	
全く不使用・不使用が多かった	17 (27.4)	9 (17.6)	7 (33.3)	33 (24.6)	
合計	62 (100.0)	51 (100.0)	21 (100.0)	134 (100.0)	
過去6ヶ月アナルセックス時のコンドーム使用(その場限り・被挿入側)					
毎回使った	24 (44.4)	23 (57.5)	5 (50.0)	52 (50.0)	0.351
使用が多い・半々	15 (27.8)	12 (30.0)	4 (40.0)	31 (29.8)	
全く不使用・不使用が多かった	15 (27.8)	5 (12.5)	1 (10.0)	21 (20.2)	
合計	54 (100.0)	40 (100.0)	10 (100.0)	104 (100.0)	
最後のアナルセックスでのコンドーム使用 *過去6ヶ月にアナルセックスを行ったものに限定					
使用した	83 (64.3)	71 (59.2)	27 (45.8)	181 (58.8)	0.056
使用しなかった	46 (35.7)	49 (40.8)	32 (54.2)	127 (41.2)	
合計	129 (100.0)	120 (100.0)	59 (100.0)	308 (100.0)	
過去6ヶ月にアルコールを飲用してセックスをした経験 *過去6ヶ月にオーラル・アナルセックスを行ったものに限定					
ある	92 (71.9)	78 (65.5)	41 (69.5)	211 (69)	0.565
なし	36 (28.1)	41 (34.5)	18 (30.5)	95 (31)	
合計	128 (100.0)	119 (100.0)	59 (100.0)	306 (100.0)	
これまでにセックスの時に併用経験があるドラッグ(複数回答)					
ラッシュ	130 (75.1)	119 (65.7)	36 (32.7)	285 (61.4)	0.000
ゴメオ	51 (29.5)	37 (20.4)	10 (9.1)	98 (21.1)	0.000
スピード	9 (5.2)	5 (2.8)	4 (3.6)	18 (3.9)	0.507
ケタミン	2 (1.2)	1 (0.6)	2 (1.8)	5 (1.1)	0.550
マリファナ	15 (8.7)	12 (6.6)	5 (4.5)	32 (6.9)	0.413
MDMA	2 (1.2)	6 (3.3)	3 (2.7)	11 (2.4)	0.391
勃起促進剤	16 (9.2)	23 (12.7)	10 (9.1)	49 (10.6)	0.498
GHB	0 (0.0)	1 (0.6)	2 (1.8)	3 (0.6)	0.251
マジックマッシュルーム	10 (5.8)	1 (0.6)	2 (1.8)	13 (2.8)	0.008
その他	5 (2.9)	8 (4.4)	2 (1.8)	15 (3.2)	0.472
今まで全ての利用なし	41 (23.7)	58 (32.0)	72 (65.5)	171 (36.9)	0.000
過去6ヶ月のセックス時のラッシュ・ゴメオの使用 *過去6ヶ月にオーラル・アナルセックスを行ったものに限定					
ラッシュのみ	60 (47.2)	46 (39.0)	17 (29.3)	123 (40.6)	0.000
ゴメオのみ	0 (0.0)	2 (1.7)	0 (0.0)	2 (0.7)	
両方使った	32 (25.2)	19 (16.1)	2 (3.4)	53 (17.5)	
いずれも使わず	35 (27.6)	51 (43.2)	39 (67.2)	125 (41.3)	
合計	127 (100.0)	118 (100.0)	58 (100.0)	303 (100.0)	
過去6ヶ月間セックス時にドラッグを併用した際の症状(複数回答)					
*過去6ヶ月にオーラル・アナルセックスを行ったものに限定					
記憶がなくなった	12 (12.5)	2 (2.8)	0 (0.0)	14 (7.4)	0.031
意識を失った	3 (3.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.6)	0.474
体が動かせない	13 (13.5)	7 (9.7)	2 (10.0)	22 (11.7)	0.805
調子が悪くなり病院へ行った	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0)	
誰でもいいからセックスしたくなつた	22 (22.9)	9 (12.5)	1 (5.0)	32 (17)	0.081
その他	9 (9.4)	4 (5.6)	1 (5.0)	14 (7.4)	0.666
いずれもあてはまらない	58 (60.4)	53 (73.6)	16 (80.0)	127 (67.6)	0.102